

科目名	地域防災学 Regional Disaster Prevention			担当教員	向谷光彦		
学 年	5 年	学 期	前期	履修条件	必修	単位数	1
分 野	専門	授業形式	講義	科目番号	16134035	単位区分	履修単位
学習目標	・ 自助，共助，公助の観点から，大規模災害発生前において復旧・復興の準備をどの程度行う必要があるのか，明確にする。 ・ 高等教育機関として復興の中核的人材育成への基礎知識，基本理念を修得する。 ・ 地域に根ざした身近な話題を導入部として，学生が主体的に活動することを目標とする。						
進め方	授業内容は必要最小限の項目にとどめる。授業内容の理解を助けたり深めたりするために必要に応じて演習や平常テストを実施し，その理解度・習得度を確認しながら授業を進め，全員が授業内容を理解できるよう配慮する。15 週のうち，外部講師による講義等を 3～5 回実施する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. はじめに (0.5) （本科目の位置付け，授業内容と成績評価方法） 2. 自助(8.5) (1) コミュニケーショントレーニング (2) リーダーシップ (3) ため池防災 (4) 1.17 から 3.11 地震の実際 (5) 建築紛争と法地盤工学 *非常勤外部講師の講話を 1～2 回予定 3. 共助(9) (1) グループワーク (2) 避難所とボランティア活動 (3) 仲間づくり			① 地域防災における自助の基礎知識が説明できる。 (B-2) ② 地域防災における共助の基礎知識が説明できる。 (B-2)			
	[後期中間試験] (2)						
	(4) 組織マネジメント，防災士 (5) PCa 二次製品を用いた防災設備 *非常勤外部講師の講話を 1～2 回予定 4. 公助(10) (1) ICT と危機管理 (2) 防災教育 (3) 災害カウンセリング (4) 地域コミュニティ再生 (5) メディア情報 (6) 石炭灰を利用した防災対策 *非常勤外部講師の講話を 1～2 回予定			③ 地域防災における公助の基礎知識が説明できる。 (B-2)			
	後期末試験						
	試験返却(1)						
評価方法	・ 学習到達目標の①～③を同じ重み（それぞれ 30～40%程度）とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	土の力学，構力Ⅱ，水理（4 年）→ 防災工学基礎（4 年）→ 地域防災学（5 年）						
教 材	参考書：湊田邦彦ら著 防災工学 コロナ社，石井一郎ら著 防災工学 森北出版， （社）地盤工学会編 土は襲う～地盤災害～，福江正治ら著 地盤地質学 コロナ社						
備 考	※再試験は実施しない。						